

①事業名	【86】ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設高機能化事業	
②主管課及び関係課（課長名）	（主管課）スポーツ・青少年局競技スポーツ課（課長：小見 夏生）	
③施策目標及び達成目標	施策目標 7-2 我が国の国際競技力の向上 達成目標 7-2-2 平成20年度までにハード・ソフト両面において充実した機能を有するナショナルレベルの本格的なトレーニング拠点の整備を進める。	
④事業の概要	ナショナルトレーニングセンター（NTC）は、我が国のトップレベル競技者等の強化・育成活動の充実を図るための施設であり、中核拠点と競技別強化拠点により構成することとしている。本事業は、冬季競技、海洋・水辺系競技、屋外系競技及び高地トレーニングの、中核拠点では対応できない競技等について、既存のトレーニング施設をNTC競技別強化拠点として指定し、NTC中核拠点とのネットワーク化などの施設の高機能化に係る事業を実施することにより、トップレベル競技者がより質の高い育成・強化活動を行うことが可能な環境の整備を図るものである。	
⑤予算額及び事業開始年度	平成19年度概算要求額：562百万円（新規） 事業開始年度：平成19年度	
⑥広報計画	中核拠点と競技別強化拠点により構成されるNTCの整備を進めていくことについては、既にパンフレット等により広報を行っており、また、NTCを活用して強化活動等を行う財団法人日本オリンピック委員会（JOC）や各競技団体等の関係者にも説明を行っている。今後、競技別強化拠点の指定及び充実に係る事業を開始する際においても、JOC、各競技団体等の関係者への周知を図るとともに、我が国の国際競技力向上のための施策として、文部科学省のホームページやパンフレット等において広報を行っていく。	
⑦事業開始時において得ようとした効果		
⑧得られた効果		
⑨得ようとする効果及び上位目標との関係	【得ようとする効果】 トップレベル競技者や地域の優れた素質を有する競技者が計画的・集中的・継続的にトレーニングを行うことが可能となる環境の整備を図る。 目標値：中核拠点では対応できない冬季競技や高地トレーニング等について、NTC競技別強化拠点となる施設を指定し、強化拠点として機能させるための施設の高機能化を行う。 【上位基本目標・達成目標との関係】 トップレベル競技者等の強化により、我が国の国際競技力の向上に資する。	⑩達成年度
		平成21年度

⑪必要性	<p>施策目標7-2の目的を達成するために、トップレベル競技者の競技水準の向上を図るため、中核拠点では対応できない冬季競技等について、トップレベル競技者が同一の活動拠点で集中的・継続的にトレーニングを行う環境の整備を図る必要がある。</p>
⑫効率性	<p>【インプット】 562百万円</p> <p>【アウトプット】 冬季競技や高地トレーニング等についての競技別強化拠点を指定し、中核拠点とのネットワーク化を図るなどの施設の高機能化事業を実施することで、より質の高い育成・強化活動が可能となる。</p>
⑬想定できる代替手段との比較考量	<p>競技別強化拠点の対象としている冬季競技等は、競技種目により施設環境や自然環境等が大きく異なるため、同一地域に1拠点として整備することは困難であり、また、各競技の強化拠点を新設するためには莫大な予算と多くの期間が必要となることから、既存施設を活用する本事業は、効率的かつ効果的である。</p>
⑭ 指標・参考指標 効 性	<p>(指標) 競技別強化拠点の対象となる競技団体等の強化活動における指定施設の利用状況</p> <p>(参考指標) 当該競技における国際競技大会の競技成績</p>
	<p>効果の把握の仕方 競技別強化拠点の対象となる競技団体等が、指定施設において行った強化活動の実績(強化活動日数)により把握できる。</p>
	<p>得ようとする効果の達成見込み及びその判断根拠 N T C競技別強化拠点の指定及び本事業の実施により、冬季競技等の強化活動をより効果的・継続的に行う環境の整備が図られることとなり、競技別強化拠点に指定された施設における強化活動の実績が、国内の他のトレーニング施設と比較して大幅に増加する見込みであることから、本事業の得ようとする効果は十分達成できると判断。 冬季競技等について競技別強化拠点を指定し支援を実施することについては、「ナショナルトレーニングセンターの設置等の在り方に関する調査研究協力者会議」における検討結果による。</p>
⑮公平性、優先性	<p>スポーツ振興基本計画(平成13年文部科学大臣決定)において、トップレベル競技者の強化のため、ハード・ソフト両面において充実した機能を有するナショナルレベルのトレーニング拠点を早期に整備することが示されている。</p> <p>また、JOCによるトリノオリンピックの総括・敗因・課題分析においても、練習環境の不足が指摘され、ナショナルトレーニングセンターの整備が求められている。</p> <p>第164回国会(常会)における文部科学大臣の所信において、夏季・冬季を通じ競技力の強化向上のためのトレーニング施設の充実が急務であると表明。</p> <p>また、トリノオリンピック(平成18年2月)における日本選手団の成績不振を受け、小泉内閣総理大臣が、冬季競技の育成・強化を行う環境整備や支援の必要性を明言。</p>
⑯評価に用いたデータ・情報・外部評価等	
⑰備考	

我が国のナショナルトレーニングセンター(イメージ図)

NTC競技別強化拠点

既存のトレーニング施設を競技別のNTCとして指定し、強化拠点として機能させるための施設の高機能化による充実を図る。

冬季競技

- ・スキー
- ・スケート
- ・アイスホッケー
- ・バイアスロン
- ・ボブスレー・リュージュ
- ・カーリング



屋外系競技

- ・サッカー
- ・ソフトボール
- ・ホッケー
- ・野球
- ・自転車
- ・馬術
- ・アーチェリー
- ・クレール射撃
- ・ライフル射撃



海洋・水辺系競技

- ・セーリング
- ・ボート
- ・カヌー

高地トレーニング



ネットワーク

NTC中核拠点(西が丘地区)

屋内・屋外トレーニング施設、宿泊施設等を整備



屋内トレーニング施設

- ・バレーボール
- ・ハンドボール
- ・バスケットボール
- ・レスリング・バドミントン
- ・柔道・体操・卓球
- ・ウエイトリフティング
- ・ボクシング 等



屋外トレーニング施設

- ・400mトラック
- ・テニスコート 等



宿泊施設

- ・宿泊室
- ・食堂 等



国立スポーツ科学センター(JISS)

- ・スポーツ科学・医学・情報の拠点

